

令和5年度 原町支部総会開催

支部で唯一、コロナ禍の中でも、令和3年、原町支部創設100年目の令和4年と総会を開催し、会員相互の親睦を図ってこられた原町支部の方々の工夫と努力に頭がさがります。

今年は5月14日(日)の午後、原町生涯学習センターにて行われました。



まず写真撮影。総会は、高玉利一(昭51年卒)事務局次長さんの進行で進められ、志賀忠重(昭38年卒)副支部長さんが開会を宣言、校歌は、全日本ハーモニカ連盟理事、ハーモニカ教室師範である林博太郎(昭26年卒)さんの伴奏で校歌を全員で斉唱しました(昨年、一昨年はコロナ禍のため演奏のみ)。続いて2名の会員物故者へ黙祷を捧げました。

平間勝成(昭45年卒)支部長さんのあいさつ、村山正之(昭36年卒)馬城会会長、佐藤秀美相馬高校校長さんの来賓祝辞のあと、功労者への花束贈呈が行われ、いきいき長寿県民賞を得られた林博太郎様へ支部長さんから贈られました。やむなく欠席の市

の自治功労の松田武久様(昭27卒)、市の保健福祉功労の星見泰寛様(昭58年卒)にも届けられました。

議事は、菊地洋一(昭53年卒)議長さんの明快な進行により、庶務報告、決算、事業計画(案)、予算(案)などが認められ、役員改選も、事務局の案が承認されました。

その後、和やかなうちに、出席者一人一人の近況報告がなされました。



支部長あいさつ



終了後にアトラクションがあり、まず、林博太郎さんのハーモニカで「知床旅情」、「故郷」など数曲を演奏、次に村山がギター弾き語りで「みかんの花咲く丘」、「高原列車は行く」など3曲をみなさんと歌いましたが、蛇足が多すぎしかも3番まで歌ったため多大なご迷惑をかけてしまいました。

最後は、昨年「相馬流れ山全国大会」シニアの部準優勝の鹿山馨(昭35年卒)さんの♪相～う～ま～流～がれや～まな～の朗々とした美声で、一番を歌い上げ、見事な締めとなりました。



♪相馬流れ山 鹿山さん

(2023.5.15 文責 村山)